

かわさきチャレンジ・3Rニュース

キレイクン

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクルに役立つ情報等を紹介します。

第9号

平成20年11月発行



ごみの減量・リサイクルについて 楽しく学んでみませんか

市職員による「出前講座」のご案内

次代を担う子どもたちに快適な地球環境を引き継ぐためには、一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルを心がけることが大切です。環境局では身近なごみのことについて考える環境教育・学習の取組として、職員が地域に出向き、ごみや資源物の正しい分け方やリサイクルの大切さなどについて説明する「出前講座」を実施しています。子どもから大人まで幅広い世代を対象に、楽しく学ぶことができるよう内容を工夫し、積極的に取り組んでいます。

「出前ごみスクール」 小学校の授業で・・・

主に小学4年生を対象に、学区内のごみ収集を担当する生活環境事業所の職員が小学校に出向き、社会科や総合学習などの時間を活用してごみに関する授業を行っています。



↑ 分別ゲームの様子

ごみと資源物の正しい分け方や出し方を学ぶ“分別ゲーム”では、ごみを分別の種類ごとに分けてカゴに入れてもらい、正しく分別できたか答え合わせをしながら、空き缶やペットボトルなどの資源物が、どのように処理され、新たな製品にリサイクルされるのか説明します。また、ごみ収集車の内部が見えるように改造した通称「スケルトン車」で、ごみ収集作業の実演も行います。



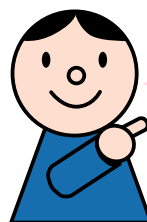
子どもたちに大人気の
スケルトン車→

こうした授業を体験することで、ごみを減量して資源を大切にすることへの関心が高まるほか、子どもたちから、周りの大人が学ぶという波及効果もあるようです。

昨年度は47校で実施しました。

「ふれあい出張講座」 地域の会合やイベントなどで・・・

町内会・自治会等の集まりや、地域のイベントなどにも地域の生活環境事業所などから職員が出向いて「ふれあい出張講座」を実施しています。職員との距離も近く、とても質問しやすい雰囲気、参加された皆様から大変ご好評をいただいています。



2ページで
「ふれあい出張講座」の
内容を詳しくご紹介します。

ふれあい出張講座

川崎市のごみ処理について

パネルやスライドなどを使って、ごみをどのように収集し、どのように処理しているか、また、市内や区内から出るごみの量は年間どのくらいあるかなど、市のごみ処理についてお話しします。

ごみの分別チェック

家庭から出る様々なごみのサンプルを用意し、参加者の皆様に分別してカゴに入れていただきます。

ゲーム感覚とはいえ、普段あまり出さない“スプレー缶”や“金属製品”などはどのカゴに入れるのか、参加者同士で相談し合うなど、いつしか真剣な表情になることも・・・。

ごみの正しい分け方・出し方について

カゴの中身を確認しながら、ごみの正しい分け方や出し方について詳しく説明します。割れた茶碗やコップ、刃物等の危険物を出すときに注意していただきたいことなど、具体的な例をあげて説明します。

分けた資源物のゆくえ

分別収集した資源物がどのように再生利用(リサイクル)されるのか、再生品の見本などを使ってわかりやすく説明し、最後に参加者の皆様からの質問にお答えして講座を終了します。

※講座の開催については、お住まいの地域を担当する生活環境事業所が随時ご相談に応じます。

写真は中原区の下小田中1丁目町会で開催された講座の様子です。参加された35名の皆様は大変熱心に職員の説明に耳を傾けられ、多くのご意見やご質問をいただきました。



廃棄物減量指導員連絡協議会でも「ふれあい出張講座」を開催しました。

廃棄物減量指導員は、町内会・自治会等の住民組織団体の推薦に基づき市長から委嘱され、ごみ排出方法の遵守指導や、ごみ減量の普及啓発などの活動を行っている地域のボランティア・リーダーです。

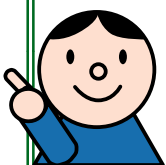
9月、川崎中央地区及び幸区廃棄物減量指導員連絡協議会の活動として、「ふれあい出張講座」が開催され、135名の指導員が参加しました。

今後も「ふれあい出張講座」を廃棄物減量指導員や町内会・自治会など、より多くの皆様に利用していただきたいと考えています。

皆様の地域でもぜひ講座を開催してみませんか。

開催に関するお問い合わせ・申込みはお住まいの地域を担当する生活環境事業所までご連絡ください。

事業所名	所在地	電話	お住まいの地域
南部生活環境事業所	川崎区塩浜 4-11-9	266-5747	大師・田島地区
川崎生活環境事業所	川崎区堤根 52	541-2043	上記以外の川崎区・幸区
中原生活環境事業所	中原区中丸子 155-1	411-9220	中原区
宮前生活環境事業所	宮前区宮崎 172	866-9131	高津区・宮前区
多摩生活環境事業所	多摩区枳形 1-14-1	933-4111	多摩区・麻生区





進んでいます！かわさきのごみ減量・リサイクル

平成17年4月に策定した廃棄物処理の中・長期的な基本計画「かわさきチャレンジ・3R」では、市民・事業者・行政が一体となって3Rを基本にごみの減量・リサイクルを推進していくため、

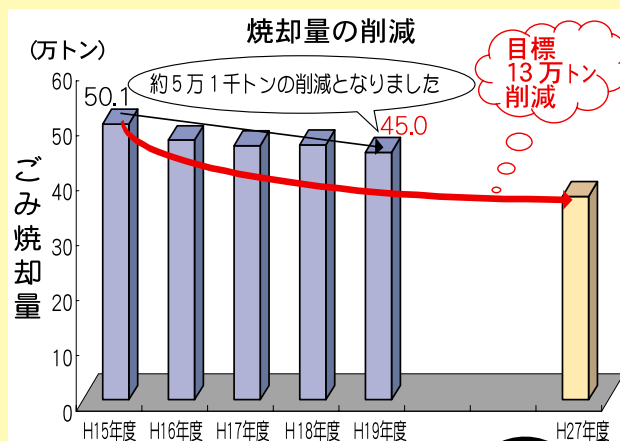
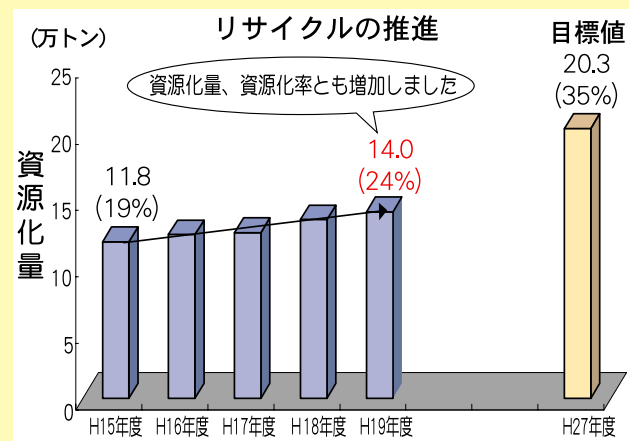
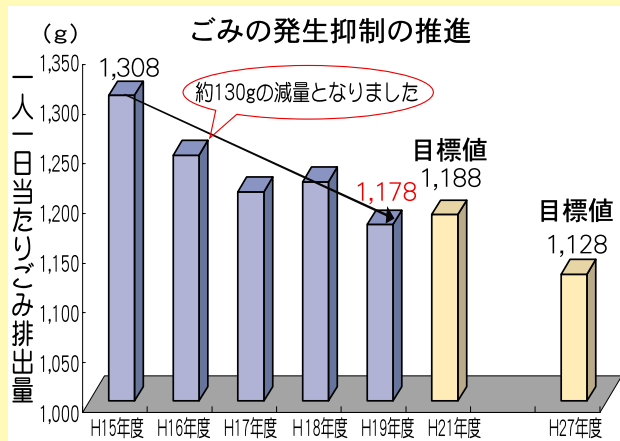
- ①ごみの発生抑制の推進 ②リサイクルの推進 ③焼却量の削減

について、平成15年度の実績数値を基準に、平成27年度を達成期間とした目標を設定しています。

平成19年4月からの普通ごみ収集回数の変更等により、平成19年度の市民1人1日当たりごみ排出量は1,178グラムとなり、平成21年度の目標値(1,188グラム)を2年前倒して達成できました。

また、焼却されたごみの量は約45万トンと15年度実績よりも約5万1千トン削減したほか、資源化量は約14万トンとなり、平成15年度と比較して2万2千トン増加し、資源化率は24%となっています。

このように成果は着実に出てきていますが、計画策定当時の予測を上回るペースで人口が増加し続けていることから、平成27年度の目標達成に向けては、これまで以上の減量・リサイクルの取組が必要となります。



市はこれからも市民・事業者の皆様とともに「地球環境にやさしい持続可能な循環型のまち」を目指した取組を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。



資源集団回収を始めませんか。

皆様の地域では、新聞・雑誌・ダンボールや古着はどのように処理していますか？

「資源集団回収」とは、町内会・自治会、学校PTA、マンションの管理組合などの市民団体と回収業者と市とのパートナーシップにより、紙類、布類、リターナブルびん等を回収・資源化する活動です。この活動の成果として、市のごみ処理量の約1割が市民の手により資源化され、ごみの減量と資源のリサイクルに大きく貢献しています。



市は資源集団回収を行う市民団体に対し、回収量1kgにつき3円の奨励金を交付し、地域のリサイクル活動を支援しています。※奨励金の交付を受けるには、所定の届出書による登録が必要です。

問い合わせ先：環境局廃棄物政策担当 電話 200 - 2579

【問3】 王禅寺余熱利用市民施設の温水プールは、何で温められているのでしょうか？

① 太陽熱 ② ごみ焼却熱 ③ 地下熱 (答えは2ページ下)



家庭で生ごみリサイクルにチャレンジしませんか。 家庭用生ごみ処理機等 購入費助成制度のご案内

生ごみはリサイクルし、堆肥や肥料として園芸や家庭菜園などで活用することができます。市では、家庭用電動生ごみ処理機やコンポスト化容器等の購入費の一部を助成し、家庭での生ごみ減量・リサイクルを推進しています。

- 助成金額：購入金額の2分の1（限度額2万円）※配送料やポイント値引き分は助成の対象外
 - 対象機器：家庭用電動生ごみ処理機、生ごみコンポスト化容器、密閉容器 など
- ※助成を希望される方は、はがきに「生ごみ処理機等助成希望」と明記し、住所・氏名・電話番号を記入して下記の問い合わせ先までお送りください。申請書類を郵送します。
※申請書類は、ごみ・リサイクルに関するホームページ（1ページ参照）からもダウンロードできます。



問い合わせ先：〒210-8577（住所はなくても届きます）環境局廃棄物政策担当 電話 200-2605



廃蛍光管の拠点回収にご協力を

家庭から排出される廃蛍光管を生活環境事業所で拠点回収します。回収した廃蛍光管は大切な資源として水銀、アルミ、ガラスウール等にリサイクルされます。

- 期間：平成20年12月15日(月)～平成21年1月15日(木)
※日曜日と12月30日(火)～1月5日(月)の間は回収しません。
 - 受付：9時半～11時半、13時半～15時半
 - 場所：2ページ下の生活環境事業所一覧をご覧ください。
 - 回収するもの
家庭から排出される廃蛍光管（形状は問いません）
 - 回収しないもの
 - ・白熱電球
 - ・割れた廃蛍光管
 - ・事業活動に伴って出る廃蛍光管
- 〔お願い〕 廃蛍光管が割れないようできるだけ買ったときの箱などに入れてお持ちください。

問い合わせ先：環境局廃棄物政策担当 電話 200-2564



リユース食器でイベントのごみを減らそう

スーパー陸上2008川崎でリユース食器を使用しました

「リデュース&リユース in 八都県市」キャンペーンの一環で、「スーパー陸上2008川崎」（9月23日・等々力陸上競技場）において、カレー・うどん等の販売に約1,000個のリユース食器を使用しました。会場でリユース食器を使用・返却いただいた皆様、ごみの減量にご協力をいただきありがとうございます。市は今後もイベントごみの減量に向けた取組を進めていきます。ご協力よろしくお祈いします。

※リユース食器とは、何度も繰り返し洗って使用(リユース)できる食器のこと。紙コップなどの使い捨て容器の代わりに使用します。



問い合わせ先：環境局廃棄物政策担当 電話 200-2558



ヨネッティー王禅寺は 皆様の健康づくりを応援します！

ごみ焼却場の余熱を利用した温水プールなので冬も泳げます。トレーニングルームや60歳以上の方は無料でご利用いただける老人休養施設なども併設されており、思い思いのリフレッシュができます。

休館日：毎月第4水曜日（7・8月は除く）



施設	利用料金	利用時間
温水プール	1時間まで 大人300円 子ども100円	10～21時（7・8月は9時～）
トレーニングルーム	3時間ごとの入替制 20歳以上300円 15歳以上20歳未満100円	9～12時、13～16時、17～20時

問い合わせ先：王禅寺余熱利用市民施設 麻生区王禅寺1321番地 電話 951-3636

編集後記

先日6年ぶりに引越しをしました。日ごろから物を増やさないと心掛けていたつもりが、いざ荷づくりを開始すると、押入れの奥から見慣れぬ物が出るわ出るわ…。これらをごみ・資源物・リサイクル品に分けた上で箱に詰める作業に思いのほか時間を要し、引越し前から心身ともに疲れ果ててしまいました。今回の引越しを機にライフスタイルを見直し、3R、特に、リデュース（発生・排出抑制）を本気で実践しなければとつくづく感じています。（1）

編集・発行

〒210-8577（住所はなくても届きます）
川崎市環境局廃棄物政策担当
電話：200-2580 F A X：200-3923
電子メール：30haise@city.kawasaki.jp